

再び本省に入りて

淺 香 生

今回道路改良會幹事を拜しました。本會と私とのお馴染の抑々の初めは、本會が大正八年に京都市で『道路講演會』を開催せられた時からである。偶々私が京都府廳に奉職して居つたので、其の時動員されて此の會場で、東京からの講師方の接待を仰せ付かつたのが、今から想へば奇縁である。其の時の講師で今尚ほ存在中の方は松本學さんと、田中好さんと、牧彦七さんの三人位であらう。夫れから大正十三年の二月二十九日付で、土木局の道路課に勤務する様になつてから、更らに親密の度が加はつて來た。

コー回顧すると際限がない。五年五ヶ月の地方廳勤務と、直轄事業の體験とは、得がたい試練でありました。

本月七日に、東京驛に下車してから、愈々本會との濃度

が加はることに運命づけられた次第である。

斯様に前後二十年の間には、本會も發展したし本誌も充實して來ました。また世間の道路は見違へる程になつた。是から先此の三者は悠久に飛躍を續けることせう。

此の無限に榮える本會と、本會が對象として居る道路の改良發達を所期する爲には、亦本會の任務と活動とが頗る重要な使命である。ツマリ本會が活氣ある動作を爲すことに因つて、道路改良を促進するものであり、道路の發達を庶幾するにはまた、本會の威大な聲援に俟たねばならぬ。

幸ひ俊秀の幹事が、林の如く居られるので、私も氣丈に皆さんの塵尾に附して行ける事と大變愉快に感じて居ります。ドウゾ會員各位。充分なる御指導をお願い致します。